

ビーム 中部

愛知

岐阜・石川

三重・福井

静岡・富山

平成 18 年 5 月 10 日 No.2006-1
社団法人 日本放射線技術学会
中部部会

事務局：〒920-0942

金沢市小立野 5-11-80

金沢大学大学院

医学系研究科保健学専攻内

TEL・FAX 076-265-2541

URL <http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>

巻頭言

「JRC2006 で感じたこと」

名古屋大学医学部保健学科 小山修司

4月7日から開催された JRC2006 に参加した。今回は、いろいろ仕事があったため、あまり研究発表を聞くことができなかったが、それでも合間を縫って、口述発表や Cypos, 機器展示などを少しずつ見たり聞いたりしてきた。その中で感じたことを少し書いてみたいと思う。

今年、特に感じたことは、放射線画像診断機器そのものやそれらの取り扱いについて、また研究発表においても、例年にも増して、被ばく低減に対して努力する内容が増えているということである。会員の皆様におかれては、当然のことといわれるかも知れないし、私の研究内容との関係でひいき目に見ているだけかも知れない。しかし、X線CTなどで、こんな僅かな部分の線量低減のためにこんなに「余計な!？」機構を装備しているのかという部分で感心したものもあった。少し前まで、画像や機能優先であった部分が、医療被ばく低減という部分とのバランスをとるようになったことは誠に歓迎すべきことであると思われた。

もうひとつ、感じたことがある。それは、非医療系の大学の研究発表が目立ったことである。CyberRadでは、非医療系の大学工学部の方々が数々のCADの研究発表をされていた。工学的専門的な知識を応用されているという部分で高度な内容であると感じた。他の口述発表や Cypos などでもこのような状況があったと思う。我々の学会が広く認知されてきていることはとても喜ばしいことである。また、我々、診療放射線技師の研究内容も年々高度になってきた感はある。さらに、放射線技術科学系大学でも、大学院における高等教育が進み、産学協同や医工連携という方向性もみえてきていることは確かである。しかし、いざ専門性という面で考えれば、まだ工学系大学に追いついていない部分もあり、これで良いのかという危機感も持った。

医療の世界では、安全というキーワードのもとに、各種安全性の確保や危機管理といった面で、現実的な要求が強くなってきている。この中には前述した医療被ばく低減も含まれるであろう。これらのことは、むしろ臨床の現場に立っている診療放射線技師が得意とする部分であり、この部分からもっともっと切り込んでいく必要があると思う。これからの自分の方向性も含め大変考えさせられた学会であった。

第7回日本放射線技術学会中部部会 ブロック研修会**明日から役立つ画像診断と治療 (シリーズ6: 心臓疾患)**

今回は心臓疾患について、診察室から画像診断～治療にいたる過程を循環器内科専門医と核医学専門医の立場から臨床の第一線で御活躍されているお二人の先生にご講演いただき、臨床と画像について理解を深めると共に、心臓疾患について各モダリティが果たす役割と技術に関するシンポジウムと討論会を開催いたします。会員の皆様の多数のご参加をお待ちしております。

日 時： 平成 18 年 6 月 10 日 (土) 14:00～17:30

場 所： 金沢大学医学部保健学科 1 号館 2 階 1220 講義室

〒920-0942 石川県金沢市小立野 5-11-80 Tel 076-265-2500

参加費： 会員：無料 非会員：1,000 円

(なお、保健学科には駐車場がありませんので、お手数ですが金沢大学医学部附属病院 駐車場をご利用くださるようお願いいたします。)

【プログラム】

「教育講演」 14:05～16:05 座長： 西出裕子 (福井県立病院)

14:05～15:05 「臨床における心臓の検査と治療について (仮題)」

藤野 晋先生 (福井県立病院 循環器内科)

15:05～16:05 「心臓核医学検査について (仮題)」

松成一郎先生 (先端医学薬学研究センター)

「シンポジウム」 16:15 ～ 17:30

座長: 石田智一 (福井大学医学部附属病院)

16:10～17:10 発表

RI: 廣瀬 正 (富山赤十字病院放射線科)

Angio: 浅井 雅史 (公立松任石川中央病院)

CT: 橋本 将彦 (富山大学附属病院)

MR: 村中 良之 (福井県立病院)

17:10～17:30 討論

第20回コンピュータ支援診断（CAD）セミナー：初級編

日時：平成18年8月19日（土）9：00～17：00

会場：名古屋大学医学部保健学科情報メディア教育室，および，会議室
〒461-8673 名古屋市東区大幸南 1-1-20

参加費：無料

会場への交通：名古屋大学医学部保健学科のウェブページ：

(<http://hes.met.nagoya-u.ac.jp/campus.html> を参照ください.)

内容：テーマ『画像処理へのスタート』

- 教育講演「CADにおける画像処理の基礎」 石田 隆行(広島国際大学)
- 画像処理の演習 川下 郁生(広島国際大学)
- C言語による画像処理プログラミングの基礎演習 川下 郁生(広島国際大学)

受講対象者：CADに興味を持ち，研究をはじめてみたいと思っている初学者。

- 注意事項：
1. 参加者は各自ノートPCを持参してください。
 2. セミナーに使用するフリーソフトを，手引書にしたがってあらかじめインストールしておいてください。

募集人数：20名

締切：平成18年7月29日（土）

申込先：広島国際大学保健医療学部診療放射線学科 川下 郁生
〒724-0695 広島県東広島市黒瀬学園台 555-36
TEL 0823-70-4566（直通） FAX 0823-70-4542
e-mail i-kawa@hs.hirokoku-u.ac.jp

- * 応募後の案内などを逐次連絡しますので，電子メールを使用して氏名と所属をご連絡下さい。

会告

(社) 日本放射線技術学会中部部会
 部会長 東村享治
 開催委員長 山本友行
 共催：(社) 石川県放射線技師会

第 41 回中部部会学術大会 開催のご案内

(社) 日本放射線技術学会第 41 回中部部会研究発表会を下記の要領にて開催いたします。多数の会員の皆様をご参加下さいますようお願い申し上げます。なお、詳細、演題募集については 8 月末頃、次号のビーム中部にてご案内いたします。

日時： 平成 18 年 11 月 11 日 (土)、
 12 日 (日)

会場： 石川県地場産業振興センター
 〒920-8203 石川県鞍月 2 丁目 1 番地
 TEL 076-268-2010

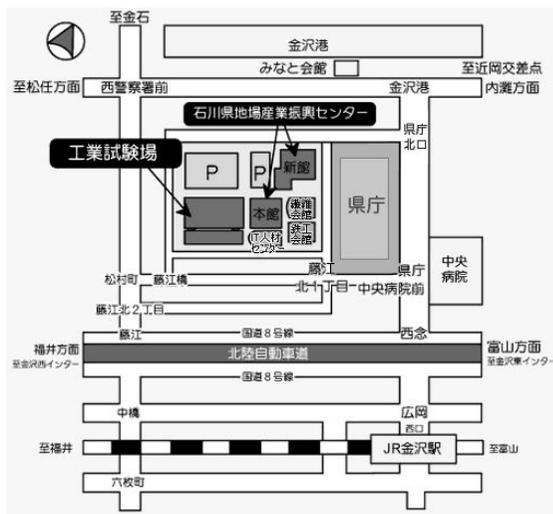
URL <http://www.isico.or.jp/jibasan/zone/index.htm>

問い合わせ先

金沢大学医学部附属病院部
 山本友行

TEL 076-265-2012, 2010

tomoyama@med.kanazawa-u.ac.jp



【開催スケジュール】

9		10		11		12		13		14		15		16		17		18	
11月11日		参加登録	各研究会		ランチ オンセ ミナ1	開会式	会員研究発表		部会 年 会		ワークシ ョップ		1	特別講演	懇親会				
11月12日	モーニ ングセ ミナ	会員研究 発表会		特別講演 2	ランチ オンセ ミナ2	会員研究発表		閉会式											



研究会のご案内

中部部会 CT 研究会

CT 研究の最前線報告会のお知らせ

東海ブロック世話人代表 辻岡勝美

中部部会CT研究会では「CT研究の最前線報告会」と題して講演会を開催します。この講演会は4月に横浜で開催された第62回日本放射線技術学会総会の研究発表から、特に興味ある演題について講演をしていただくもので、CT研究の最先端を知ることができます。講演時間も総会発表の7分ではなく30分程度とし、研究背景から考察まで詳細な講演をしていただきます。総会に参加されなかった方、参加したがさらに詳しく知りたい方、最新のCT技術に興味のある方、興味のない方、是非とも皆様の参加をお待ちしています。事前申込み不要です。非会員でも参加可能ですが若干の参加費をお願いします。

日時：

平成18年6月3日(土)午後2時～午後6時

場所：

エーザイ株式会社東海サポートセンター6階ホール
(名古屋市地下鉄高岳駅の北)

内容：未定

(総会の発表の中から興味のあるものを検討中です。画像評価、臨床技術等、広い範囲で講演していただきます。メーカー発表も予定しています。)

【問合せ先】 〒470-1192

愛知県豊明市杣掛町田楽ヶ窪1-9-8

藤田保健衛生大学衛生学部診療放射線技術学科

辻岡勝美

E-mail tsujioka@fujita-hu.ac.jp

Tel 0562-93-9419

Fax 0562-93-4595

共催：日本放射線技術学会中部部会CT研究会

エーザイ株式会社

第四回中部部会医療情報システム研究会

一言いたいこと言う委員会

日時：平成18年6月17日(土)13時～15時

場所：岡崎市民病院

参加費：無料

プログラム

1. 話題提供
 - システム導入予定施設からの提言と実情 -
 - ・「岡崎市民病院の現状と問題点」演者未定
2. 会場ディスカッション
 - 1) 他の部門システムを学ぼう(岡崎市民病院)
 - 看護部門システムについて-
 - 他の部門システムを知り、情報共有に役立てよう。さらに現状の問題点を知り解決の糸口をディスカッションする
 - 2) 医療情報システムへの期待
各施設ではどのような期待をしているか？
またはもう期待していないか？
 - 3) 医療情報システムへの不安
期待と反対に不安もあるのではないだろうか？
仕事量が増えるなど・・・
3. 施設見学 (岡崎市民病院)

第28回 画像研究会

第4回「Slit法によるMTF測定とウィナー スペクトル測定

画像研究会 代表世話人 澤田道人, 上田伸一

昨年度に引き続き、デジタル画像の物理測定セミナーを開催します。今回は皆さんの関心も高くデジタルシステムにおいて重要なMTF測定とウィナースペクトル測定を行います。実習形式であるため人数に制限がありますので、事前受付形式にて行います。

日時：

平成18年6月24日(土)午後2時～午後6時

会場：

名古屋市立大学病院 中央診療棟 4階
第1会議室

参加費： 会員 無料 非会員 500円

募集人数：20名程度

(定員に達しましたら、締め切らせて頂きます。)

受講対象者：デジタル画像物理測定の初学者。

受講時にノートPC(OSはWindows XP)を持参可能な方(Windows MEではImage Jで画像が開けませんので、OSはXPをお願いします。)

締 切： 平成18年6月9日(金)

申 込 先：rakunny@med.nagoya-cu.ac.jpに
下記事項を記入の上お申込みください。
Subject[件名]に「画像研究会参加申込み」と
ご記入ください。なお、電話での受付はいたしません。

記 入 事 項：氏名、所属、連絡先「電話、E-Mail
アドレス」を本文に記入して下さい。

【問合せ先】名古屋市立大学病院 國友 まで

E-mail：rakunny@med.nagoya-cu.ac.jp

日本放射線技術学会中部部会CT研究会 「脱ビギナーズセミナー」のご案内

日本放射線技術学会中部部会CT研究会
東海ブロック 世話人代表 辻岡勝美

日本放射線技術学会中部部会CT研究会(東海ブロック)ではビギナーズセミナーと脱ビギナーズセミナーを1年おきに開催しております。本年は脱ビギナーズセミナーを開催します。CTのことをもっと詳しく知りたい人、これから研究を始めてみたい人のためのセミナーです。セミナーではCTの性能評価のコツ、アプリケーションの解説、マルチスライスCTの検査法まで解説します。また、質疑応答(フリートーク)の時間も用意しました。多くの若手会員のご参加をお待ちしております。なお、本セミナーは事前募集形式とします。下記までE-mail、FAX、葉書でお申込ください。

中部部会CT研究会「脱ビギナーズセミナー」
(事前募集形式です)

【日時】

平成18年8月6日(日)10:00～16:00

【場所】

藤田保健衛生大学衛生学部4階講義室

【内容】

9:30	受付開始
10:00	開会
10:00～11:00	造影剤に関する知識
11:00～12:00	基礎編(性能評価)
13:00～14:00	基礎編(アプリケーション 解説)
14:20～15:20	臨床編(マルチスライス CTの検査法)
15:20～16:00	質疑応答

【対象】

C T 経験が 3 年前後の若手放射線技師

【参加費】

1,000 円 (昼食, テキスト代含む)

非会員は 2,000 円

【定員】

40 名

【締め切り】 平成 18 年 7 月 21 日

(ただし定員になり次第締め切ります)

【申込み先】

下記へ (住所, 施設名, 会員番号, 氏名)

〒470-1192

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪 1-9 8

藤田保健衛生大学衛生学部診療放射線技術学科
辻岡勝美

E-mail tsujioka@fujita-hu.ac.jp

TEL & FAX 0562-93-9424

共催：日本放射線技術学会中部部会 C T 研究会
タイコヘルスケアジャパン株式会社

中部部会 第 7 回 CT 立山セミナー**中部部会 CT 研究会**

恒例の立山セミナーも今年で 7 回目を迎えました。昨年までは立山中腹でセミナーを開催していましたが、今年は趣向を変えて晩夏に立山山麓にて開催いたします。

今回は「超多列化時代の腹部 CT を考える！！」というテーマで、腹部 CT に関する臨床講演、64 列 CT の技術講演、最新の技術に関する話題提供を予定しております。恒例の本音を語る CT 座談会では、超多列 CT による腹部撮影のあり方について文字通り本音で意見交換し、とことん語り合いたいと思います。その他にも、昨年からの企画であります学位 (博士号) 取得講演や、CT の被ばくに関する講演を予定しているほか、2 日目のシンポジウムでは、「画像診断におけるト

ータルソリューション ～PACS? ビューアー? レポーティングシステム?～」と題し、フィルムレス時代に対応する CT の撮影法や、周辺機器の問題点、よりよい使い方について検証していきたいと思います。

会場の「ウエルサンピア立山」にはテニスがでできる多目的ホールや天然温泉、露天風呂が備わっており、ご家族で楽しめる施設となっておりますので、ご家族同伴での参加も可能とさせていただきます (別途相談に応じさせていただきます)。

内容は盛りだくさんですが、日頃の疲れからこころを癒しつつ、じっくりのんびりとお勉強しませんか? CT に興味のある皆様のご参加をお待ちしております。どうぞ普段着でお越しください。

日 時：平成 18 年 8 月 26 日 (土), 27 日 (日)

会 場：富山厚生年金休暇センター

「ウエルサンピア立山」

電話番号：TEL 076-481-1126

集合場所：平成 18 年 8 月 26 日 (土) 12:00

富山駅北口 または 13:00 現地

* 富山駅北口からは貸切バスによる送迎 有り
(申込時には、集合場所を必ず明記必要)

募集人数：30 名

参加費：17,000 円 (宿泊費, 貸切バス代, 食事代 4 食分, 資料代含む) (ご家族同伴の場合は別途相談に応じさせていただきます)

申込締切：平成 18 年 8 月 4 日 (土)

申込先：e-mail chubu_ct@hotmail.com

(全て電子メールでお申込みください)

申込時に参加希望者の所属、氏名、連絡先、本人宛の電子メールアドレス、集合場所を明記してください。

(富山大学附属病院 放射線部 伊藤 一宛)

プログラム :

テーマ「超多列化時代の腹部 CT を考える！！」

=1 日目 8 月 26 日 (土) =

14:00~14:50

腹部 CT に関する臨床講演 (内容未定)

15:00~15:50

64 列 CT の低コントラスト分解能とアーチファクト

16:00~16:30

学位 (博士号) 取得講演

16:30~17:00

CT 検査による被ばくの現状

20:00~22:00

本音で語る CT 座談会

「超多列化時代の腹部 CT を考える！！」

=2 日目 8 月 27 日 (日) =

8:00~9:00

話題提供

9:10~11:00

シンポジウム

「画像診断におけるトータルソリューション
~PACS? ビューアー? レポートシステム?
~」

問合せ: 中部部会 CT 研究会事務局

TEL 076-265-2000 FAX 076-234-4311

金沢大学医学部附属病院 放射線部
松原孝祐

事務局からのお知らせ

昨年度より事務業務の簡略化, 経費の節減と共に、学術集会, 研究会の充実を図るべく会員広報誌ビーム中部の紙媒体郵送による配布を基本的に廃止いたしました。会員の皆様にはご不便をおかけしている面もあろうかと思いますが、各種学会手続きの電子化の普及, 情報の即時性などの観点から、ホームページからのダウンロードによる配信を基本としております。

ただ、身近にインターネット環境が整備されていない会員の方に対して、希望者にはビーム中部の郵送の継続申込によって、郵送配布を継続しておりました。**昨年度に引き続き郵送配布希望の方は改めて本紙同封の葉書にて5月末までに事務局にお申込ください。(郵送は発行日より1週間程度遅れます)**

中部部会事務局の連絡先

〒920-0942 金沢市小立野 5-11-80

金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻内
(社) 日本放射線技術学会中部部会

TEL・FAX 076-265-2541

E-mail jsrttb@met.nagoya-u.ac.jp

中部部会ホームページ

<http://jsrttb.met.nagoya-u.ac.jp/>

会員情報の変更は技術学会本部のホームページ (<http://www.jsrt.or.jp/>) の入会案内からお願いいたします。

(社) 日本放射線技術学会中部部会

ビーム中部 2006 年第 1 号

発行: 東村享治

編集: 小山修司, 石森佳幸, 石田智一